

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	SDGsと現代社会の課題とその関わり方入門 (Introduction to the challenges of modern society and how we engage it)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	気候変動/地球環境/エネルギー/生産責任/循環経済等に焦点化		
担当者名 (Instructor)	中沢 聖史(NAKAZAWA SATOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

SDGsの17のゴールからいくつかを選び、基礎的な概念理解とその課題に対する最先端の取り組みについて理解を深めることを目標とする。

その際に社会的課題を知るために不可欠なメディアリテラシーについて、新聞メディアをもとに理解し、使いこなせるようになることをめざす。

これらをもとに、大学生として基礎的な学習成果に加え、持続可能な社会づくりに参画するにはどのような知識、技能、態度を習得すべきかを各自が考え、行動することを目的とする。

Students will learn about some of the 17 goals of the SDGs, aiming to deepen their understanding of the basic concepts and cutting-edge initiatives.

In addition, media literacy, which is essential for understanding social issues, will be focused on using newspaper media as a source of the material.

Based on the above, in addition to the basic learning outcomes as a university student, the course aims to consider what knowledge, skills, and attitudes each student should acquire and take action to participate in the creation of a sustainable society.

授業の内容(Course Contents)

授業は、次の3つのパートで構成し、各パート4~5回の授業をおこなう。

- (1) 現実社会の情報を取り入れるメディアリテラシー
- (2) SDGsの概要といくつかのゴールについての概説と現状
- (3) SDGsの実践事例

(1)では、新聞メディアをとりあげ、フェイクニュースの見抜き方、ファクトチェックの方法、新聞が紙媒体から電子媒体へ移行するなかで情報の取得と理解について媒体の特性に応じた方法を取り扱う。

(2)では、SDGsのローカルレベルとグローバルレベルでの課題とその対応についてSDGs概論として取り扱う。SDGsの17ゴール、169ターゲットのうち、世界規模の課題を踏まえ、本学で取り組んでいる活動や研究を考慮し、学生の関心を喚起しやすいゴール、また発展的な学習や活動に結びつけやすいゴールを幾つか取り上げる。各回で取り上げたゴールに関わる現状分析と課題解決について、ゲストスピーカーと科目担当教員と学生とのディスカッションをとおして、課題を自分事として認識することを促すことを意識的におこなう。

(3)では、SDGsに関わる実践は、政府レベル/地方自治体レベル/企業や各種組織レベル/学校レベルと取り組みが展開されているが、そのうち、異なるセクターからそれぞれ特徴的な取り組み、興味深い取り組みについてゲストスピーカーから現状と課題などを報告してもらい、学生が当事者となって、SDGsにかかわる方法など検討していく。

ゲストスピーカーは、新聞メディアの編集委員など高い専門性を有するジャーナリストおよび企業経営者、自治体関係者にご登壇いただく予定である。

This subject is one of Rikkyo Service Learning (RSL) subjects. The class will consist of the following three parts, each of which will be delivered four to five sessions.

- (1) Media literacy to incorporate information from the actual world.
- (2) Overview of the SDGs and some of the goals and their current status
- (3) Practical examples of SDGs activities.

In the part (1), we will focus on the newspaper media and deal with how to detect fake news, how to check facts, and how to acquire and understand information according to the characteristics of the media in the shift from print to electronic newspapers.

In the section (2), the local and global level issues of the SDGs and their responses will be dealt with as an overview of the SDGs. Among the 17 goals and 169 targets of the SDGs, some goals that are expected to arouse the interest of students and that can be easily linked to developmental learning and activities will be discussed, taking into consideration the activities

and research being conducted at our university based on the global scale issues. Through discussions among the guest speakers, instructors, and students, we will help the students to understand the issues as their own matters.

In the third session, we will have guest speakers from different sectors report on the current status and issues of their distinctive and interesting initiatives, and students will be encouraged to participate in the discussion on how to become involved in the SDGs.

The guest speakers will be journalists with a high level of expertise, including editorial board members of newspapers, corporate executives, and local government officers.

授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション: 授業の目的, 受講に関して, 現代社会の課題とは
2. なぜニュースは大切か: メディアの進化
3. フェイクニュースの見抜き方: ファクトチェックの方法
4. 現代人に必須な情報スキル: 情報の取得と理解について 情報媒体の特性
5. SDGs 概論: SDGs はなぜ重要か?
6. 気候変動と温暖化: 科学技術記者の視点も交え、科学的、経済的に検証
7. ダイバーシティと働き方: ジェンダー平等達成への課題
8. 環境・エネルギーと脱炭素社会: 産業や暮らしの何が変わるか
9. SDGs グローバル: 世界規模の課題への取り組み 1
10. SDGs グローバル: 世界規模の課題への取り組み 2
11. SDGs ローカル: 少子高齢化、過疎問題と持続可能性
12. SDGs ローカル: 企業における社会貢献とは
13. SDGs ローカル: ローカルな課題, その先にある地域創生について
14. 総括 授業のまとめと展望: 情報を活用し SDGs を「自分ごと」にするためには

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

SDGs と現代社会の課題の実際や取り組み方について考える力を身に付けられるよう、各回の内容に則した簡単なレポート課題に取り組む。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/各回のリアクションペーパーまたは小課題(50%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

講義初回オリエンテーション、イントロダクションに出席すること。ゲストスピーカーは、新聞メディアの編集委員など高い専門性を有するジャーナリストおよび企業経営者、自治体関係者にご登壇いただく予定である。各回のオムニバス型式で構成されるため、また、ゲストスピーカーの調整のため順序等の変更の可能性がある。

※この科目は立教サービスラーニング(RSL)科目群のひとつである。

注意事項 (Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。